

最強世代。

最強の「結束」で掴む優勝

1月下旬に今年の相撲部主将が高田存秀法4に決まった後、5人の新4年生は一度だけ、話し合いをした。「高田だけが頑張るんじゃなく、みんなで高田をサポートしよう」という「強い結束を誓い、相撲部の最強世代は出航した。」

高田を始め、二瓶顕人(商4)、宮城全希(経4)、小池和春(管4)、斉藤和憲(経4)の五人衆は、多少の違いこそあれ土俵経験が豊富だ。近年の大学相撲はインカレ3連覇の日大、東洋大、東農大、日体大の「4強」が中心。昨年の11月のインカレ団体戦で、駒大はベスト8。だが、今眼中にあるのは「優勝・勝つこと」のみだった。小池は、今年の冬には「(チーム力の)底上げが行われている」と自信を匂わせる。高田は笑顔を交えながら言った。「稽古を休まずにできている。(主将の)自覚はないから」気負ってはいない。過去には、元前頭筆頭・尾形静雄らを輩出し、インカレ優勝もある相撲部。5人は、大学相撲に一陣の風を吹かせそうだ。(齊藤太一)

去には、元前頭筆頭・尾形静雄らを輩出し、インカレ優勝もある相撲部。5人は、大学相撲に一陣の風を吹かせそうだ。(齊藤太一)

日程	大会名	場所
5/12	東日本リーグ 新人戦	靖国神社
6/10	東日本リーグ	両国国技館



「全日本に
今度こそ」

今吉咲耶子

「高田だけが頑張るんじゃなく、 みんなで高田をサポートしよう」

前列左から高田、小池

後列右から二瓶、斉藤、宮城



鍵となる二人

一部昇格の目標を達成するための中心人物となるのは、清竹将人(管4)と今吉咲耶子(社4)の両主将。清竹は1年から主力として活躍し、2年の時には、全日本学生体操競技選手権大会の個人種目別・平行棒で見事優勝し、翌年も同種目で2位入賞を果たす実力者だ。三幣晴三総監督からの期待も高い清竹は、「部員たちには自分の姿を見て学んでほしい」と主将としての意気込みも十分。

今吉は同大会において全日本体操競技選手権大会出場枠に迫る、個人総合5位入賞を果たした。「去年あと一歩のところまで逃した全日本に今度こそ出場したい」と決意を新たにしていた。出場が決まれば、田中実奈コーチ以来の快挙となる。

長年、男女ともに目標としてきた一部昇格の夢。今年こそは、きつと両主将がチームを勝利へと導いてくれるだろう。(澤田衣里)

日程	大会名	場所
4/13~15	東日本学生グループ別選手権	神奈川県立体育センター
5/19、20	東日本インカレ	弘前市

リーグ戦	対戦大学	場所
日程		
4/15	帝京大学	神奈川県立体育センター
29	専修大学	神奈川県立体育センター
5/12	日本体育大学	後楽園ホール
26	大東文化大学	後楽園ホール
6/9	明治大学	後楽園ホール

1部昇格に向け今年、1部昇格に向けボクシング部が熱い。昨年の2部リーグ成績は4位と結果を残す事はできなかったが、そのリーグ戦を戦ってきたのは半数以上が3年生である。「2年間かけて今年を見据えてやってきた。だから勝ってくれないと困る」熊本道之コーチも今リーグに対する思いは特別である。

3月の沖縄での合宿を終え、主将の平井啓太(管4)は、「去年、先輩の代わりに出た試合で負けてしまい、優勝を逃して悔しい思いをしているので、今年はその先輩のユニフォームで出ようと思う」と絶対に負けたくないという決意を胸にリーグ戦へと挑む。また、昨年の兵庫国体で2位、全日本3位の結果を残したチームの頼れるエース清水聡(管4)も4年生になり、昨年以上の活躍に期待が掛かる。「合宿を通して自信がついた。最後のリーグ戦なので全部出し切りしたい。全勝優勝」と心強い言葉を放った。



「全部出し切りたい。
全勝優勝」

リーグ初戦は帝京大学。大学生活最後の思いを込めたこぶしの戦いは4月15日に開幕する。(近藤健吾)

「ゴルフは楽しい！」

今年から、ゴルフ部を新しく取材することになりました。ゴルフ部は、強豪揃いの1部リーグで昨年は春5位、秋4位と健闘を続けている。「ゴルフは楽しい！難しいからこそ、極めたい」とゴルフの魅力を語る主将高橋圭祐(管3)が仲の良いメンバーたちを率いて戦いに臨む。5月の春リーグに向けて、「(自分が)全勝して、みんなを引っ張っていき入賞したい」と意気込む主将に率いられた練習を続ける彼らの姿を今後も取材を通じて読者にお届けします。大会日程は未定。